2018年4月15日　No.127　　発行責任者 田中 孝史

かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶんかべしんぶんかべしん

第１２７号

郵政産業ユニオン PIWU TOKYO
郵政産業労働者ユニオン東京地方本部
104-0031 東京都中央区京橋3－6－3
京橋通郵便局5F
TEL・FAX 03-3535-5447
piwutokyo@yahoo.co.jp

政府の「働き方改革」許すな

郵政も今以上の長時間労働の危険

４月６日、安倍内閣は「働き方改革」一括法案を国会に提出しました。

法案では、裁量労働制拡大は削除したものの、労働時間規制を適用除外とし、長時間労働を野放しにする「残業代ゼロ制度」（高度プロフェッショナル制度）はそのまま盛り込んでいます。そして、残業時間は忙しい月には１００時間、２～６か月平均で月８０時間まで容認しています。正規・非正規雇用の格差について、同じ仕事でも「昇進コース」などが違えば賃金等の格差を容認・拡大させていく。また、フリーランスという名のもとに労働基準法を適用させない労働者を増やしていく等の内容になっています。

これは企業が最大限の利益を追求できるようにするもので「企業のための働き方改革」です。そして、これは過労死を増大させ、労働者を奴隷状態に追い込んでいくものであり、郵政でも今以上の長時間労働が行われていくようになってしまいます。

そもそも働き方改革は、日本の異常な働き方を改善しなければならないということから始まったのでした。そのきっかけは長時間労働とパワハラによって起こった２年半前の電通の高橋まつりさんの自死事件でした。高橋まつりさんのお母さんは「大切なまつりを失った悲しみと苦しみは一生消えることはありません。私たちのような不幸な親子を増やさないために経営者や従業員、全ての人の意識を変えて、社会全体で働く人の命と健康を守ってほしい」と言っています。

私たちは命と健康を守っていくためにも「働き方改革」一括法案をストップさせ、誰もが「８時間働けば普通に暮らせる社会」を実現していこう。

国会前に５００名以上でコール

４月11日、この法案に反対する緊急の国会前行動が昼の時間帯に行われました。全労連、全労協を中心に500名以上の組合員が、「過労死を増大させるな」「働く者の健康を守れ」「安倍首相はやめろ」とコールしました。

んぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶんかべしんぶんかべしんぶんか